

川西まちなかテラス整備

第1回川西町にぎわいづくり検討委員会 第1回ワークショップ まとめ

■ワークショップの内容について

テーマ「中心市街地の可能と課題の確認」

- ・そもそも「にぎわい」ってなんだろう？
- ・「賑わいスポット」と「賑わせたいスポット」

「施設の使い方を考える」

- ・施設の「日常の使い方」
- ・施設の「非日常の使い方」

〈実施概要〉

日時：2023年7月2日（日）
 場所：川西町役場 庁舎3階 大会議室
 参加者：にぎわいづくり検討委員のみなさん（22名）
 渡部 桂 氏 東北芸術工科大学教授
 （メインアドバイザー・検討委員長）
 小池 拓矢 氏 株式会社鈴木建築設計事務所設計戦略室長
 （設計アドバイザー）
 伊東 優 氏 ツキノワ合同会社代表社員
 （設計アドバイザー）
 安達 真也 氏 公益財団法人山形県建設技術センター技師
 （オブザーバー）
 川西町長 原田 俊二
 川西町政策推進課（4名）

〈タイムスケジュール〉

13:00～13:30 開場・受付
 ～13:53 委嘱状交付・町長あいさつ・検討委員長あいさつ
 ～14:45 WS（前半）
 自己紹介・グループワーク・発表
 （休憩）
 ～16:15 WS（後半）
 自己紹介・グループワーク・発表
 ～16:30 まとめ
 町長及び検討委員長の総評



原田町長のあいさつ



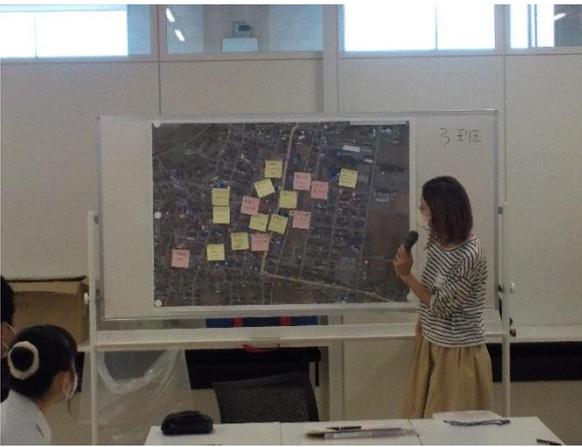
渡部委員長のあいさつ



前半は街中の「にぎわい」を考える



後半は施設の「使い方」を考える



グループごとに発表



グループごとに発表

■ 「中心市街地の可能性と課題の確認」

○ グループワーク前半

そもそも「賑わい」ってなんだろう？ 72項目

・ 場所：15項目

「賑わい」を作る「場所」として、既にある場所（ダリヤ園、井上ひさしの故郷、伊達三日月街道、フレンドリープラザ、商店街など）の活用・連携、新しい遊び場が求められている。

・ 人：22項目

「賑わい」を作る「人」として、未来を担う子供や若者世代、人口比率が高まる高齢者、本町の特徴である「置農生」、観光客、外国人が期待されている。

・ コト：35項目

「賑わい」を生み出す「コト」として、祭り、市、音楽やダンス、スポーツ大会などのイベントと飲食の期待が高い。

～グループワークを受けて、そもそも「賑わい」とは？～

- 「賑わい」は、人が多いことに加え一人ひとりが生き生きできることが大事（数が少なくても能動的に活動する生き生きとした風景）
- 「賑わい」には、その場所に行くこと、その場所を使うことのハードルが低く、訪れやすいことが大事（空間の雰囲気、利用の仕組）
- 「出会い」や「交流」もキーワードとして注目される（地域外の人々の利用）

グループワークのコメントまとめ

青シール：「賑わいスポット」

赤シール：「賑わせたいスポット」

黄色付箋：「賑わいの内容」

ピンク付箋：「賑わせたい内容」



土産

学校行事
マモグバホ
スポーツ
夏祭り
秋祭り

ホフシ
フットー

休日遊び場
プール

遊び場

天神祭り
お神輿

喫茶店

銀行

ダイアロン

飲み会

西と東の
往来

公園

図書館
芸術
演劇
無料ウクレレ堂

高校生の
たまり場

通学増加
商店街復活

カラオケ
山形煮店

利用者増加
カフェ
イベントの鐘

焼きたこ

塩小巻
みよ水

飲み会
明内町一軒

遊具

ダンスイベント
歩行者天国
登下校
高校生
猫駅長
子ども
音楽

アロリス
交流

常念寺
伊達政宗か
お水手
見習

伊勢神宮
分社

サト一屋菓子店
和菓子屋

食堂
お直し

スーパー
マーケット

小児科
キッズの中心

バタとら
貝の工房

滝田魚店
鮮魚店

スーパー
マーケット

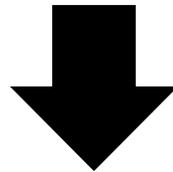
ツルハドラッグ 川西店
ドラッグストア

■ 「中心市街地の可能性と課題の確認」

○グループワーク後半

「賑わいスポット」と「賑わせたいスポット」

- ・「賑わいスポット」としては、
飲食店と食、スーパー、駅、祭りやイベント会場などが多く挙げられた。
- ・「賑わせたいスポット」としては、
天神森古墳（遊び場）、フレンドリープラザ（喫茶店）、公園（フレンドリープラザ南）、
エコスノードーム、三菱鉛筆（オープンファクトリー）、羽前小松駅（東西往来、カフェ、イザベラの鐘）、
生きがい交流館駐車場（交流）、商店街（人流増加）、拠点施設（遊具）、皇大神社が挙げられた。



「賑わいスポット」「賑わせたいスポット」と
拠点施設の利用、連携した活動、役割分担が
求められている。

■ 「施設の使い方を考える」

○グループワーク前半

- ・拠点施設内（屋内外問わず）において、日常で「使いたい場所」「使える場所」
- ・「使いたい場所」「使える場所」を「どのように使いたいか」「どのように使えるか」

～拠点施設の「日常の使い方」～

○多目的室、ホワイエ、芝生への利用イメージが多く上がった。

○ホワイエ、東屋、南側沿道緑地がゆるやかな「たまり機能」や「会話の場」にイメージされていることが特徴的（何気ない行動、行動の大事さ）

○あらゆる場所の利用方法の可能性については、「どうすれば実現できるかという視点」が重要。

グループワークのコメントまとめ

赤シール：非日常で「使いたい場所」「使える場所」

ピンク付箋：非日常で「どのように使いたいか」「どのように使えるか」

凡例

記号	規格	数量	備考
○	ヤマボウシ 樹立	H=4.5m 3本	三脚島路支柱
○	ヤマツツジ	H=1.5m 4本	遊具組(1本制)支柱
●	マサキ生垣	H=1.8m 10m	2本/m幅付 生垣支柱(支柱間1.8m、支柱間1.5m)
●	マサキ生垣	H=1.5m 92m	3本/m幅付 生垣支柱(支柱間1.5m、支柱間1.5m)
■	地盤補強 クラピアK7	70x150	40x40x100
■	強芯(コウライ芝)	ペト張り	目土共
■	高山草土	真鍮土	418.7m ³
■	植栽地 容土敷均し	厚300mm	375.5m ²
■	ステンレスエッジ	H150mm	205.9m
■	防塵網 玉砂利敷き	φ150mm	90m ²
■	ロックンエッジ	H85mm	84.4m
○	埋込灯	φ93mm	7箇所
○	ガーデン灯	H491mm	14箇所
○	ポール灯	H4500mm	9箇所
▲	サイン	H120xW1000	3箇所

樹木の植量にあたっては樹木根幹の大きさに適した植穴容量とし、客土する。客土は補強用良質土を使用し、土壌改良はパーク増肥20%、真珠岩系パーライト10%、緩効性高効率化成肥料(適量)を施す。

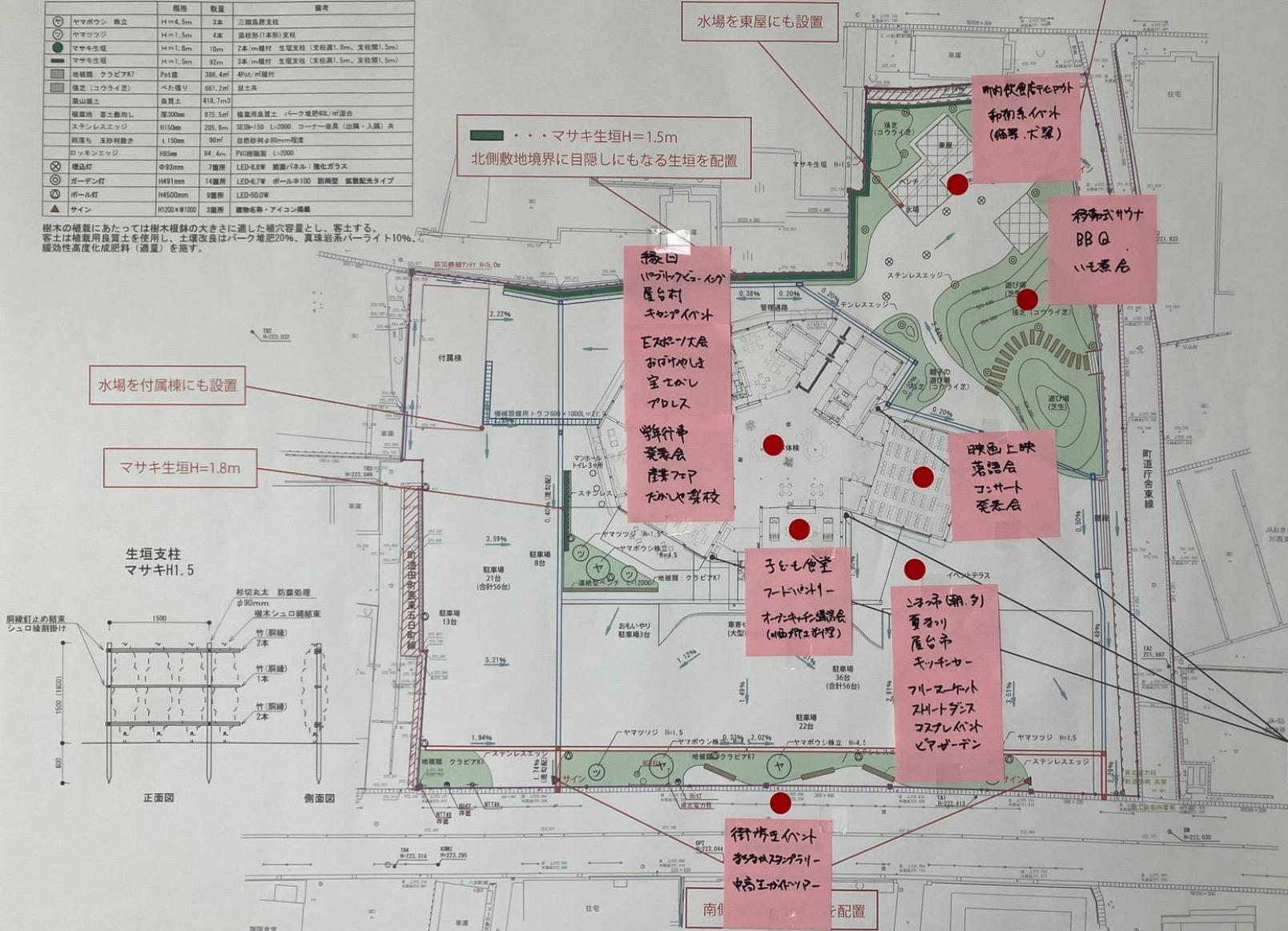
変更後凡例

- 敷地境界擁壁(土留め)
- 地先境界ブロック 120×120×600
- 片面歩道境界ブロック (駐輪スペース輪止め) 150×200×600
- 境界擁壁+安全柵(町道庁舎東線)

※インターロッキング舗装部分および、植栽地と舗装の境界に側溝の入れない部分はステンレスエッジ(H150)を使用

- 駐車場 アスファルト舗装
- 広場 コンクリート洗出し舗装
- 東屋・遊び場 インターロッキング舗装
- 敷地境界線
- 駐車場ポール灯 9箇所
- アプローチ埋込灯 7箇所
- まちの広場 ガーデン灯(H500) 14箇所
- サイン 3箇所

建物外周部水場(3箇所)



水場を付属棟にも設置

マサキ生垣H=1.8m

生垣支柱
マサキH1.5

正面図
側面図

水場を東屋にも設置

マサキ生垣H=1.5m
北側敷地境界に目隠しにもなる生垣を配置

後日
イベントスペース
屋台村
キョロアイト
Eスポーツ大会
お祭り
宝工お祭
アトレス
学年行事
発表会
産業フェア
たけのこ祭り

映画上映
落語会
コンサート
発表会

子ども食堂
フードコート
オープンカフェ
(H150xW1000)

スポーツ場
夏祭り
屋台村
キッチンカー
フリーマーケット
スポーツ大会
マサキ生垣
ビアガーデン

街角サイン
お祭り
中高生イベント

北側1箇所にサインを配置

■ 「施設の使い方を考える」

○グループワーク後半

- ・拠点施設内（屋内外問わず）において、非日常で「使いたい場所」「使える場所」
- ・「使いたい場所」「使える場所」を「どのように使いたいか」「どのように使えるか」

～拠点施設の「非日常の使い方」～

- ホワイエ、イベントテラスでの利用イメージが多く挙がった（イベント実施）。
- あらゆる場所の利用方法の可能性については、「どうすれば実現できるか」という視点は重要である。
- 新規イベントの実現は、実施主体の組織化が必要となるため、関心が高い人を集めること、そこでの対話から組織や企画が立ち上がる流れが必要。